

片言隻句

取材で化粧品専門店を訪問する度「専門店は感動の宝庫だな」と感じる。先

日、北海道の「星の国」を訪れたのだが、実際に同社・高瀬社長から

「うちのパーソナルカラー診断ぜひ体験してみてください」と言われ、お言葉に甘えて体験させて

頂いた▼はじめに手首の血管の色を診て、ブルー系か黄色味がかっているのかを診断。次に、金と

銀の布の上に手を置き、どちらの布の方が肌が映えるかで「ブルベ肌」か

「イエベ肌」を見極めるという。記者の場合は特殊肌だったようで、ブルベとイエベどちらでもい

けるマルチ肌と診断して頂いた▼既にこの時点で「そうなの!？」と驚きの数は満載だったのだが、

次は色味の違うピンクのカラードレープを用いて、自分に似合うカラーの系統を見出していくと

レープをかけ、どの系統

のピンクが一番似合うか

を診断したのだが、同じ

ピンク系でも顔がくすん

で見える色、逆に透明感

や明るさが見える色があ

り、記者は「パステル系

の明るい色」が肌に映え

ると導き出してくれた▼

また同店のカラー診断の

おもしろいところが、似

合わない色を教えること

その背景には

「似合わない色さえきち

んと押さえておけば失敗

はないから」という理由

があり、思わず「なるほ

ど」と納得したのだった

▼この間たったの、5

分”。この5分で自分を

知るといふ価値実感と感

動に直面したのである。

化粧品専門店とは、新た

な自分を知れる場所であ

り、より美しくなる為の

情報を与えてくれる場所

でもあるということを変

めて実感したと同時に、

やはり、心を揺さぶるのは

体験価値 であると、

専門店にしかできない価

値提供の可能性を感じた

次第である。(N)